



とやまケンキヨーソ特命 多忙解消

セキュリティーポリス
SP
No. 25

意識改革から始める働き方改革(1)

「意識改革がすすまないから働き方改革がすすまない」とよく言われます。では、どういう意識からどういう意識に変えればよいのでしょうか。今回は、この意識改革についてのお話です。

なぜ「月45時間」「80時間」「100時間」が基準なの?

仕事8時間、生活8時間、睡眠8時間が健康に過ごすための適正バランスだと言われます。

医学的な研究から、睡眠時間が5時間以下になると、脳・心臓疾患の罹患率が高くなる事が知られています。厚生労働省はさまざまな調査から残業時間と睡眠時間におおむね次のような関係性があると結論づけました。

残業時間	月 45 時間	月 80 時間	月 100 時間
睡眠時間	7 時間 30 分	6 時間	5 時間

つまり「月 45 時間」は 7 時間 30 分の睡眠時間を保障するための基準です。しかし、これでは適正バランスの 8 時間に 30 分足りません。本当の最低ラインは年間 360 時間、つまり「**月平均 30 時間**」。これが 8 時間の睡眠時間を確保するための**命と健康を守る最低ライン**なのです。

先生の健康より大切なものがあるとすれば・・・

実は教員には「月 45 時間、年間 360 時間」を超えてでもやらなければならない時があります。上限規則には、臨時の特別な事情がある場合は、時間外勤務時間を月 100 時間未満、年間 720 時間以内にすることが定められています。文部科学省は、この特別な場合として、「学校事故が生じて対応を要する場合や、いじめや学級崩壊等の重大事案が発生し児童生徒等に深刻な影響が生じている場合」と示しています。つまり、子どもの命や安全が脅かされる場合は上限を超えることも止むを得ないという考え方です。

最も大切にしなければならないのは、「子どもの命や安全」として、次に大切なことは何でしょう。「子どもの学び」「教職員の命や健康」「研修」「学校運営」・・・優先順位を裏面で考えていきましょう。

ワクチン接種が終わったら・・・

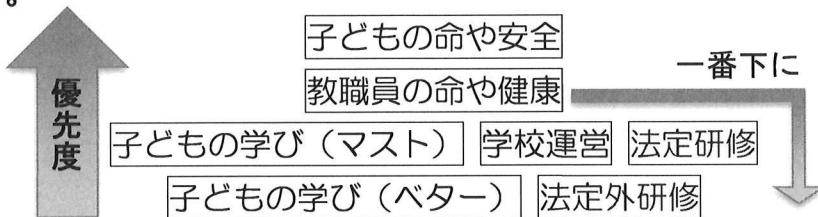
委員長・魚津支部担当 能澤 英樹 中止になっていた歓迎会、忘年会、新年会などを次々にやる。	書記長 相澤 誠 愛妻とゆーとりあ越中で1泊(組合の割引利用)	書記次長・砺波支部担当 田守 健治 ウクレレ1本を持って長い旅に出たいなあ。	富山支部担当執行委員 布瀬 譲 来年の富山マラソンを目指し、いっぱい走る。(できるかな?)	高岡支部担当執行委員 氷見 三佐子 グルメ旅+ライブ参戦+みんなで女子会	特別支援担当執行委員 鈴木 佳世子 ネット以外での実店舗の買い物をゆっくりとしたい。

私たちの命と健康は優先順位のどこに？

優先順位を考える時、「マスト」と「ベター」の区別が必要です。例えば運動会は学習指導要領に示されていますが体育的行事の一例でありマストではありません。法定研修以外の、校内研、訪問研、小・中教研などもベターです。また、学習指導要領はマストですが、授業時数はあくまで「標準」なので多少の裁量は許されます。

一方、労働基準法は労働者の命や健康にかかわる法律です。学校教育法のさらに下位にある学習指導要領が労働基準法より優先されてはいけません。

あえて優先順位をつけるとすれば、下図のようになりますが、現実には**教職員の命や健康はいつも下に追いやりられます。**



※本来、命がかかるものに優先順位をつけるべきではありませんが、考えるきっかけとして表現していることをご理解ください。

民間企業では非常識な学校経営

民間企業であれば、社員の命と健康が優先されます。次のようなベター業務はまず廃止・縮減されるでしょう。

- | | | |
|---------|--------|---------|
| ・小中教研 | ・学校訪問研 | ・校内研 |
| ・学力調査 | ・部活動 | ・学校行事 |
| ・持ち込み行事 | ・作品募集 | ・施設設備管理 |

もちろん、子どもたちのために実施したい行事やとりくみはいくつもあります。でも、そのために睡眠時間や休息時間を削り、病休者や退職者まで出しているのでは本末転倒です。「月45時間くらいみんな大丈夫」「月80時間でも自分は倒れない」という意識のままでは、働き方改革は前進せず、苦しい職場のままでです。

命と健康を大切にする意識を共有しましょう

これを読んだ皆さんがあなたの命と健康を大切にする意識をもってくだされば意識改革の第一歩です。さらに行動に移せるなら、職員会議等でお互いの負担を減らす方法を提案していきましょう。管理職から今までどおり（またはさらに追加して）やるように促された場合は「**先生方が帰る時間がさらに遅くなりますが大丈夫ですか？**」と尋ね、安全管理意識を喚起していきましょう。時間を短くすることが目的化するのではなく、「命と健康」というゴールが共有されることが大切なことです。（次回は具体的な業務削減方法について）

多忙反対！家庭第一のイクメン教師

つるぎ

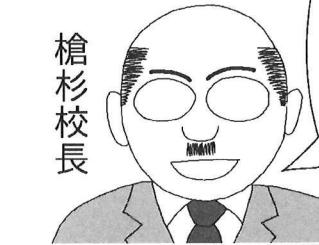
剣マモルが行く！

ワークライフバランスが大切！の巻

※ワーク・ライフ・バランス
仕事と生活の調和

槍
杉
校
長

先生方
が大
切
です！
ワーク
ライフ
バ
ラン
ス



ライフを命と訳したのかー

仕事と命をてんびんに
WORK LIFE BALANCE



座
升
主
任

仕事か命

うちの学校

まさにそれ



今日も80時間超え一泣

